

JAEAT 2026（札幌）ランチョンセミナー

演題： 実験動物施設の運用に適した「乾熱滅菌法」という選択肢

演者： 市瀬 誠一

要旨：

実験動物を生物学的に安全な環境で飼育するためには、飼育装置をはじめ、飼料や床敷きなどの消耗資材や環境エンリッチメント用具の清浄度を適切に管理することが重要です。その手法の一つとして、米国では約 20 年前から「乾熱滅菌法」が実験動物施設に導入されてきました。

乾熱滅菌法の最大の特長は、現在一般的な高圧蒸気滅菌法（オートクレーブ）とは異なり、蒸気を用いず熱のみで滅菌を行う点にあります。そのため、蒸気設備や給排水設備、設置用ピット（床面の掘り込み）などを必要とせず、施設設計や運用面において高い柔軟性を有しています。

現在、米国では主に大学などの学術研究機関を中心に約 120 の実験動物施設で、合計約 160 台の乾熱滅菌装置がバリデーションを経て導入され、安定的に運用されています。

本セミナーでは、乾熱滅菌装置の概要とその仕組みを紹介するとともに、実験動物施設における特徴やメリット、適用上の留意点・限界について、実際の導入事例を交えながら概説します。

第 60 回日本実験動物技術者協会総会 ランチョンセミナー登録フォーム

日 時：2026 年 11 月 22 日（日）12：00～13：00

会 場：札幌医科大学 教育研究棟 I 2 階 C 会場

定 員：100 名（定員に達した場合は、ご登録いただいてもご参加いただけない場合がございます）

